

No.	30	分野	橋梁	プロセス	維持管理
目的	違いの判別 (コンクリート面の損傷部とそれ以外の温度差を判別)			撮影・可視化対象事項	温度、形状 (異常な温度を確認)
技術要素	専用ソフトウェアによる画像解析			活用効果	品質、コスト、工程

■背景および技術用途

- 赤外線カメラで撮影したコンクリート表面等の温度画像から浮きや剥離などの劣化箇所を特定
- 劣化箇所を画像上に抽出して表示

■技術詳細

- 温度情報を持った赤外線画像を取得できるため、特定温度の抽出、差画像の作成、再判定等が可能
- ひび割れ自動抽出システム「Kuraves-Actis」と併用することで、浮き・剥離に加えひび割れ幅・長さの解析が可能

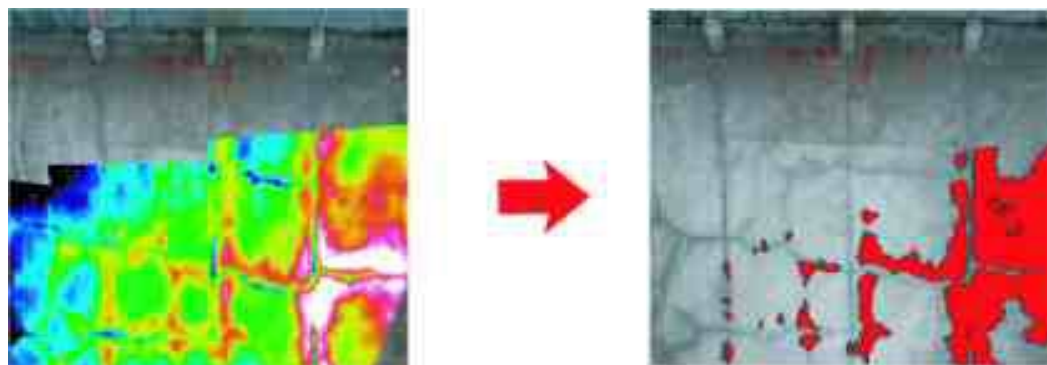


図 赤外線診断の一例